



全国で活躍するような強豪のノベガク部活動生だって、普段はフツウの高校生。
この企画では、そんな等身大のノベガク生の素顔を解き放っちゃいます！

今回、素顔を晒してくれるバスケ部員はコチラ！



今回の対談企画は、男子バスケットボール部に所属する3年生に集まっていたいただきました。3年間、苦楽を共にしてきた4人に、バスケ部でのいろいろなエピソードを伺ってきたいと思います。

まずは自己紹介がてら、好きな女性のタイプを教えてください。

渡部「はい。汗っかきで剛毛な人がタイプで、服から脇毛が……」

全員「笑」ちょっと待って、いきなりキモい！」

渡部「すみません。えーと、汗っかきな女性タイプです。汗が好きです！」

鶴田「僕は、一緒にスポーツができるような女の子がいいですね」

稲留「ショートカットの子が好みです」

新垣「僕は優しい女性がいいです」

「ありがとうございます。4人はお互いのことをどう思ってるの？」

新垣「渡部くんの足がめっちゃ臭いっす（笑）わざわざ嗅がなくても部屋に匂いが漂ってるんですよ」

渡部「言うなよ……こまめにファブリーズしてるんですけど」

「仲が良さそうで何よりです（笑）渡部くんは部長を務めているので、足が臭いこと以外にも、もっと長所があると思うんだけど、どうですか？」

新垣「真面目ですね。練習もすごく熱心で。熱中しすぎて呼吸困難になるくらいがんばるんですよ」

鶴田「M素質があるのか、いじられるのが好きみたいっす。最初は怒るんですけど、いじるのをやめるとスネるっという」

稲留「渡部くんは練習後に寮に戻ると、汗

をびっしょりかいたまま布団に入るんですけど……」

渡部「待って！それは嘘です！それ以外は全部本当ですけど、それだけは嘘だから！」

稲留「で、汗かいたまま普通に寝たりしますね」

渡部「違います！嘘です！」
「やっぱり汗が好きなんだね（笑）」
では、部長の渡部くんから見て、バスケ部はどう？

渡部「延学バスケ部は、普段ふざけたり馬鹿なことをしてても、バスケになると全員が真剣なんですよね。闘争心を持って、一人ひとりが成長できるチームなんです。そこがすごく素晴らしいと思ってます」

全員「おー（拍手）」
「部員はどれくらいいるの？」

渡部「65人くらいかな。そのうちの9割近くが、推薦で入ってきてますね。僕は推薦ではなく、一般で入学したんですけど」

「なるほど。全国各地から部員が集まってると思うけど、寮生活はどう？」

新垣「沖縄出身なんですけど、最初は時間が守れなくて。9時集合なのに、9時20分に寮を出たりとかしてました。沖縄県民あるあるです（笑）」
でも先生が厳しいので、だんだん慣れていきましたね。今では全然遅刻しなです」

渡部「親元を離れてるんで、僕も生活面ですごく自立できるようになりました」
鶴田「確かに。自分で考えて行動するようになったかな」
「バスケも強くて、生活面でも自立してると



なると、やっぱり女の子にモテるのでは？」

渡部「それは、人によるのでなんとも言えないです。僕はこういうキャラなんです全然モテないっす」

「でも、結婚の約束をした彼女がいるって聞きましたけど……？」

渡部「（笑）めっちゃ昔の話ですよ！黒歴史です。高1の4月から、付き合ってた彼女がいたんです。その子は僕の地元三重県にいたので、遠距離恋愛だったんです。なので夏休みと正月の帰省の時にしか会えなくて。正月に会った時に、少し早いけど、付き合ってた1年記念のプレゼントをあげたんですよ。なのに、プレゼントを渡した翌日にフラれました。お年玉を全部つぎ込んで、2万円分もプレゼント買ったのに！2万円です……それで翌日に即フラれたことがショックすぎて大泣きしましたね。フラれた理由は、僕と一緒にYouTubeをやってる相方がいるんですけど、その相方のことを好きになったからっていう」

「それは辛いね。その相手とは、今でも仲が良いの？」

渡部「はい、まだ一緒にYouTubeやってます。さらに辛いのが、彼女とうまくいった時期に『#結婚確定』と

かって書いて、自分でインスタにあげちゃってたんですよ。そのスクショを、バスケ部の全員が持ってた（笑）」

「そのスクショ、『月刊楽en』に載せてもいいですか？」

渡部「絶対嫌です！」
「ほかのみんなは、彼女いるの？部活で忙しいと思うけど、いつデートしてる？」

鶴田「デートは携帯の中だけです（笑）」
渡部「毎週水曜日は練習がないので、デートするしたら水曜日ですかね」

「恋愛以外では、何か印象深いエピソードってある？」

稲留「風呂に入りに行くために、全裸で廊下を歩いてたらオナラしたくなっちゃったんですよ。で、我慢はよくないし、どうせ出すなら思いっきり出してやろう！と思って力一杯ふんばったら、予定と違うものが……」

全員「笑」
「え？寮って全裸で歩いているの？」

鶴田「いや、普通にダメです（笑）」
新垣「あと、今はもう取り壊されたんですけど、古い寮に住んでた頃の話なんですけど。大きい台風が近づいてきていて、寮生みんなで一緒に、休校になるかどうかの連絡を待ってたんですよ。で、寮長から『今日は休校です』って言われた瞬間に全員ワーって喜んで。鶴田くんが喜びすぎて壁をぶっ壊しました（笑）」

鶴田「古い建物だったので、壁も脆かったんですよ」
「かなり怒られたんじゃない？」

鶴田「いや実は、このことを話したのは今日が初めてです（笑）どうせ取り壊



される予定だったので、似ている色の壁紙を買って、穴を塞いでごまかしてました」

「最後に、延学バスケ部で過ごした3年間はいかがでしたか？」

渡部「バスケを通して、コミュニケーション力がつきましたね。強いチームにするために、部員同士まとまっていかなきゃいけない場面があるので、勉強になることが多かったかな」

鶴田「部員のレベルが高いので、自分自身もバスケが上達できてよかったですね」

稲留「僕もすごく成長できました。今まで周りの目を気にしすぎてたところがあったんですけど。何が良いのか、ダメなのか、自分で考えられるようになったり」

新垣「自分も、自立できたことが大きいですね。それと他人のためにがんばれる人間になりたいと思うようになりました」

みなさん、最後に素晴らしいコメントありがとうございました。バスケ部員の『絆』と『成長』を感じられるとても良いインタビューでした！では最後に、コレで締めたいと思います（小指を立てたポーズで）
全員「#結婚確定〜」（笑）」
「ありがとうございました！」